

学術知共創プロジェクトの取組状況と 先導的人文学・社会科学研究推進事業 （現状と課題）

盛山和夫

（人文学・社会科学特別委員会）

2021年6月21日

1 人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト

背景・課題

人文学・社会科学振興の在り方に関するワーキンググループ「人文学・社会科学が先導する未来社会の共創に向けて（審議のまとめ）」（平成30年12月）に基づく、「**人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト**」の公募（令和2年5月）

- 人文学・社会科学の個々の専門的な研究がそれぞれに分断され、**現代的な社会課題やマクロな知の体系との関連付け**を得ることが難しくなっている。
- 自然科学による問題設定に対して、**人文学・社会科学の学問体系で蓄積された知**をもとに、研究者が主体性を持って協働することが難しい面がある。

事業概要

- 今日の社会課題を見据え、未来社会の構想のために、**我が国の人文学・社会科学の知がどのように貢献でき、何をなし得るかを考察するプロセスの体系化**をめざす。
- 「**大きなテーマ**」のもとに、**分野を超えた研究者等が知見を寄せ合って研究課題と研究チームを創り上げていくための場（共創の場）**を整備する。

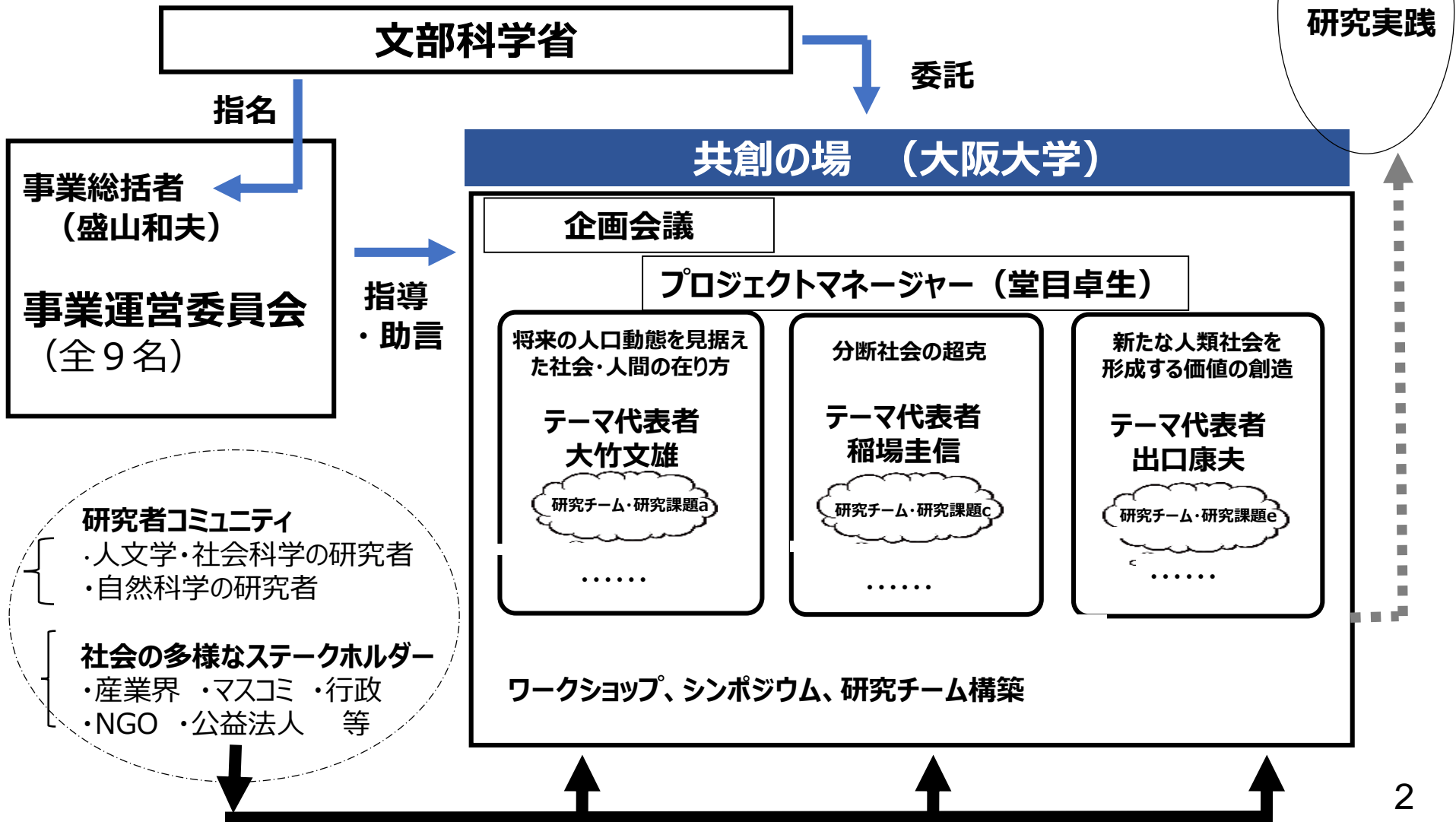
人文学・社会科学に固有の本質的・根源的な問いに基づく大きなテーマ

- 大きなテーマ：① 将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方
② 分断社会の超克
③ 新たな人類社会を形成する価値の創造

○ 多様な分野の研究者を糾合して大きなテーマにとり組むことを通じて、人文学・社会科学の根源的な問いを見直し、**理論知**の新たな展開をめざす。

人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト（大阪大学）

- 3つの大きなテーマのそれぞれにおいて、**テーマ代表者**を中心に、**多様な研究者やステークホルダー**等が集まり、相互の議論を通じて、研究課題を設定するとともに、当該研究課題に対応した**研究チーム**を構築



2 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 (学術知共創プログラム) ——日本学術振興会

これまで

科学技術・学術審議会学術分科会の報告（平成24）を受けて、平成25年度より事業開始

- ・「領域開拓」「実社会対応」「グローバル展開」の3プログラムを、年度順に実施。
- ・毎年度、3～6個の課題を設定。令和2年度までで、研究テーマ設定型を9件、研究テーマ公募型を76件採択。現時点で、研究遂行中のもの26件。
- ・革新的で創造的な研究実績。シンポジウムなどで積極的に発信。

学術知共創プログラム

今年度より、本特別委員会「審議のまとめ」を踏まえ、事業を部分改編し、人文学・社会科学のより挑戦的で根底的な発展をめざした研究支援スキームを設計。

○趣旨：未来社会が直面するであろう諸問題に係る**有意義な応答**を社会に提示することを目指す研究テーマを掲げ、**多様な分野**の研究者や社会の多様なステークホルダーが参加して、人文学・社会科学に**固有の本質的・根源的な問い**を追求する研究を推進することで、その解決に資する研究成果の創出を目指す。

事業体制と特徴

- ・3つの**大きなテーマ**を継承し、3課題を設定。
- ・事業としては、「学術知共創プロジェクト」とは「**独立**」。
- ・事業委員会において制度設計と運営。独立した「部会」において、審査・評価。
- ・支援単価は、直接経費については、1,500万円弱/年度。期間は、最長6年。
- ・令和3年度の採択予定は2件程度。ヒアリング審査あり。
- ・4月27日に公募開始、6月25日締め切り。
- ・9月下旬に採択結果通知。10月より研究開始を予定。

参 考 资 料

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」

～概要～



1. 背景

「リスク社会の克服と知的社会の成熟に向けた人文学及び社会科学の振興について(報告)」
(科学技術・学術審議会 学術分科会 (H24.7.25))

人文学・社会科学の振興を図る上での3つの視点として、

1. 諸学の密接な連携と総合性
2. 学術への要請と社会的貢献
3. グローバル化と国際学術空間

が、重要である。

2. 事業概要

平成25年度～ : 「領域開拓プログラム」、「実社会対応プログラム」、「グローバル展開プログラム」

- ・ 上記「3つの視点」を踏まえた先導的な共同研究を支援する枠組み。
- ・ 事業委員会が、各プログラムの趣旨及び政策的・社会的課題を踏まえ、「課題」を設定。(研究テーマは「設定型」と「公募型」の2種)
- ・ 支援期間は3年間(5～10百万円程度/年)。
- ・ 令和3年度は、採択済みの26件(領域開拓 12、実社会対応 8、グローバル展開 6)を支援。



再編、一本化

令和3年度～ : 「学術知共創プログラム」

- ・ 「人文学・社会科学が先導する未来社会の共創に向けて」(科学技術・学術審議会 学術分科会 人文学・社会科学振興の在り方に関するワーキンググループ (H30.12.14))を踏まえたプログラム。
- ・ **未来社会が直面するであろう諸問題(大きなテーマ※)の下で、人文学・社会科学に固有の本質的・根源的な問いを追求する研究を推進**することで、その解決に資する研究成果の創出を目指す。
- ・ 支援期間は最長6年間(15百万円程度/年)。
- ・ 現在、公募中であり(締切は6/25)、2件程度を採択予定。

大きなテーマ

- ・ 将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方
- ・ 分断社会の超克
- ・ 新たな人類社会を形成する価値の創造

※ 「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト(審議のまとめ)」(R3.1.22)で提唱されたもの。

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」

～「学術知共創プログラム」イメージ～

